

○ 本校の概要

☆教育目標 ・心身ともに健康な生徒 ・自ら学び、向上する生徒 ・心豊かで、思いやりのある生徒
 ☆学校経営の基本方針: (1)すべての生徒にとって安心・安全で居心地の良い学校、居場所がある学校

(2)文武両道の学校

(3)生徒が主体的に考え、行動し、協働していく学校

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄					
								評価	人数	コメント			
生予個き測別る困目力難標をな1育未成来社を創造的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	【2】	77.8%	4: 80%以上	○これまでの取組 ・理科では理科指導専門員の支援を受けた実験を行い、科学的に調べる能力や思考力を育てる。 ・職場体験を通して、勤労観や職業観を育成し、社会的な礼儀などの基礎・基本を学ぶ。 ・移動教室などの学校行事を通じ、協調性や成吉思感を味わわせる。 ・「あいさつ運動」や、生徒会によるペットボトルキャップ回収等のボランティア活動を推進する。 ・日常的に学習者用タブレット端末を活用し、情報活用能力やプレゼンテーション能力を育成する。 ・ICT教材等を活用し、効果的なICT教育を推進する。 ●今後の改善策 ・STEAM教育やSDGsを取り入れた学習成果を積極的に発信し、保護者へ教育効果を可視化する。 ・理科指導専門員との連携による実験を継続し、科学的思考力をさらに高める。 ・生徒会やボランティア部を中心に全校生徒によるボランティア活動を推進する。	A	2				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	【2】	77.6%	3: 60%以上		学校評価アンケートにおける「授業や生活の中で課題解決能力、創造力並びに情報活用能力等をつけている」、「情報機器を適切に活用した授業を実施している」と回答した割合	生徒【3】 76.7%	B	1		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	【3】	82.9%	2: 50%以上				保護者【3】 65.8%	C	0	
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			1: 40%未満		D	0						
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。												
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。												
お世個別たを目標とする2人が人材を際育都成市	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	【2】		79.0%	4: 80%以上	○これまでの取組 ・ALTとの会話を通じ、実践的なコミュニケーション能力を育成とスピーキングスキルの向上を図る。 ・大田区立中学校生徒海外派遣報告を文化祭で発表し、国際感覚の育成に取り組む。 ●今後の改善策 ・ALTとの会話機会をさらに増やし、実践的なスピーキングスキルを強化する。 ・校内掲示や他教科連携により、他国の文化理解を深める。	A		1		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	【2】		75.0%			3: 60%以上	学校評価アンケートにおける「外国語指導員を活用した英語の授業等でコミュニケーション能力が高められた」、「地球規模の課題についてSDGsなどに関心を寄せ考えられた」、「他人の人権を尊重し、周囲の人との価値観を理解し受け入れた」と回答した割合	生徒【3】 73.1%	B	2
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	【2】	70.8%	2: 50%以上			保護者【2】 56.5%			C	0
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
④授業や総合的な学習の時間などでSDGsについて生徒が意識して関心を寄せることができた、教員が意識を持たせられた。	4:「おおむねできた」と全教員、生徒が回答した。	【2】	70.8%	1: 40%未満		D	0						
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。												
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。												
た一個め人別の目基と標礎り3がな個性力をを育力成を發揮する	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	【2】		75.0%	4: 80%以上	○これまでの取組 ・道徳授業地区公開講座を実施し、保護者や地域に道徳指導を公開する。 ・数学科や英語科において、少人数制指導やチーム・ティーチングを行い、個々の能力に応じた指導を行う。 ・保健体育の始業時にサーキットトレーニングを実施し、持久力や体力の向上を図る。 ・「早寝・早起き・朝ごはん月間」の設定や、食育の推進により健全な生活習慣の確立を目指す。 ・キャリア・パスポートを活用し、自分の成長を見つめ直し、3年間の計画的な進路指導につなげる。 ●今後の改善策 ・「道徳授業地区公開講座」による授業公開や講演会を実施し、地域・家庭と価値観を共有する。 ・始業時のサーキットトレーニングを定着させ、持久力と総合的な体力向上を図る。 ・「早寝・早起き・朝ごはん月間」の啓発を家庭と連携して強化し、生活リズムの確立を図る。 ・職場体験を通じた勤労観の育成に加え、キャリア・パスポートを3年間計画的に活用し、自己理解と将来の見通しを一体化させる。		A	2		
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	【1】		59.0%			3: 60%以上	学校評価アンケートにおいて様々な場面で元氣よくあいさつができて「学校に登校するのが楽しく学校が好きである」、「早寝・早起き・朝ごはんや健康づくりなど正しい生活習慣を心がけている」、「道徳の授業は充実している生徒の豊かな心の育成に影響を与えている」と回答した割合	生徒【3】 79.9%	B	1
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	【2】	65.8%	2: 50%以上			保護者【3】 78.8%			C	0
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										
④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	【2】	72.2%	1: 40%未満		D	0						
	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。												
	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。												

●生徒会やボランティアを積極的に地域に出ていると思う。(コロナで止まっていたので)
●共が大切。すべての事に「なぜ」が大切。

●できる限り、体験することが大切

●町工場など地域性を生かした職業体験ができていると思う。
●周りに関心を持つ心を大切にしたい。

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄										
								評価	人数	コメント								
学個別力目標 教師力を向上させます	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	【2】	73.6%	4: 80%以上	○これまでの取組 ・生徒の個性に応じた「個別最適な学び」を重視し、探究的・協働的な学習を進める。 ・地域ボランティア等の外部人材による職業講話を実施し、仕事の魅力や意義への学びを支援する。 ・単元や題材等のまとまりごとに単元テスト等を実施し、細かく学習定着度の確認と振り返りを行う。	A	2	●生徒一人一人の家庭環境や個性を尊重しながら、細やかな指導をしていると思う。 ●共に成長が大切。								
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			学校評価アンケートにおいて「授業内容をよく理解している」、「学力は確かに向上している」、「授業を工夫し主体的・対話的な授業や体験活動などを行った」、「一人一人の個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に視点による授業改善を試みた、「働き方改革を試みた」、「働き方改革を意識して業務適正化に取り組むことができた」と回答した割合					生徒【3】 74.6%	B	1					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												2: 50%以上	C	0	●今後の改善策 ・単元テストや定期考査、学習効果測定等の結果をまとめた「学習カルテ」や「キャリア・パスポート」をより効果的に活用し、個別の学習目標を明確にする。 ・「8チュー・タイム」の充実を図る。
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。															
た自個め分別のら目学し標びく5をい支き援いきと生きる	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整え、相談機能の充実を図ること、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	【2】	75.0%	4: 80%以上	○これまでの取組 ・サポートルームと連携し、生徒の主体的な取り組みを促すとともに、校内委員会を毎週開催して情報交換と具体的支援を行う。 ・WEB-OUや学校生活調査を活用し、いじめの早期発見やより良い学級づくりに努める。 ・「生命尊重週間」を中心に、人権課題に関する授業を充実させる。 ・スクールカウンセラーによる第1学年全員面接や、不登校対策としてのステップルームの活用や学級内での「居場所づくり」を推進する。	A	2	●ステップルームのスペースを拡大し、不登校のこどもたちに合った環境を作っている。 ●個性の発見、充実が大切。								
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			学校評価アンケートにおける「学校はいじめ問題」に対して防止や対応についてしっかりと取り組んでいる、「困ったり悩んだりしたとき先生は親身になって相談に乗ってくれている」、「校内にはスクールカウンセラー室や保健室など自分を支援してくれたり相談できる場所がある」と回答した割合					生徒【3】 78.1%	B	1					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												2: 50%以上	C	0	●今後の改善策 ・週1回の校内委員会の継続と、不登校対策巡回教員や登校支援員等との連携を強化し、「居場所づくり」をより組織的に推進する。
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。															
安柔個心軟別なで目標創育造6環的なを学つ空く間と安全	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	【3】	89.5%	4: 80%以上	○これまでの取組 ・居場所としてのステップルーム整備や登校支援員等の配置、用務主事による環境整備等により、学校・学習環境を整える。 ・セーフティ教室(防犯・薬物乱用防止等)や「生命(いのち)の安全教育」を実施する。 ・立地や校舎環境を考慮し、実行力のある避難訓練や安全指導を行う。	A	3	●防災会議にも校長や副校長が積極的に参加し、ありがたい。								
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			学校評価アンケートにおける「学校は避難訓練や防災教育を行い危険や災害に備え安心して生活できる教育を行っている」と回答した割合					生徒【4】 83.0%	B	0					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												2: 50%以上	C	0	
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。															
学地学個別校校別をコ・目ツミ家標くユ庭7リニ・まテ地域の核連と携して協働による	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	【2】	72.4%	4: 80%以上	○これまでの取組 ・土曜授業公開や、地域教育連絡協議会との連携により、開かれた学校作りを目指す。 ・学校ホームページや保護者メールを活用し、学校の情報を積極的に発信する。	A	1	●こどもたちの外の様子など、地域の声をよく聞いてくれる。地域に根付いた学校だと思ふ。 ●全面協力をおしません。								
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			学校評価アンケートにおける「学校は学年だけでなく、学校だよりやホームページ等で情報を発信している」、「PTAや地域等が学校と連携した活動をして生徒を思ってくれていると思う」と回答した割合					生徒【3】 79.3%	B	1					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												2: 50%以上	C	0	●今後の改善策 ・大田区学校運営協議会の設置を生かし、地域人材の協力を得て教育活動を充実させる。 ・PTAとの連携をさらに深め、地域一体となった活動を活性化させる。 ・新保護者連絡システムを活用し、情報発信を充実させる。
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。															

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す